

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●柴田大知騎手がJRA通算400勝を達成

7月1日(土)の2回福島1日・第1レースではコスモイグナーツが1着となり、同馬に騎乗した柴田大知騎手(美浦・フリー)は、現役39人目となるJRA通算400勝(8077戦目)を達成しました。

●トーセンレーヴの競走馬登録抹消

2012年エプソムC(GⅢ)の勝ち馬トーセンレーヴ(牡9歳・栗東・池江泰寿厩舎)は、7月5日(水)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は33戦8勝で、今後は北海道厚真町のエステファームで乗馬となる予定です。

●戸崎圭太騎手が海外渡航届を提出

戸崎圭太騎手(美浦・田島俊明厩舎)が海外渡航届を提出しました。期間は8月9日(水)から8月17日(木)で渡航先はイギリスおよびアイルランド。8月12日(土)にイギリスのアスコット競馬場にて開催される騎手のチーム対抗戦「ドバイデューティーフリー シャーガーC」に出場するほか、現地視察を目的としています。

●夏季のWIN5はメインレースからスタート

夏季期間におけるWIN5は、昨年引き続き「SUMMER WIN5」として発売されることとなりました。7月30日(日)から9月3日(日)までの期間は、各場のメインレースのうち発走時刻が最も早い競走がWIN5の最初の対象レースとなり、各場のメインレース(3レース)および札幌競馬・新潟競馬の最終レース(2レース)が対象レースとして設定されます。

●有馬記念の枠順は公開抽選で実施

今年の有馬記念(GⅠ)については、昨年に引き続き、都内ホテルに厩舎関係者が一堂に会し、枠順(馬番号)を公開抽選によって決定するとともに、その模様がテレビで生中継されることとなりました。放送日時は12月21日(木)の17時から18時30分の予定(放送局未定)。なお本年より有馬記念当日の中山競馬は、第1レースの発走時刻が9時35分に設定され、12レースが実施されます。これにより有馬記念の競走番号は第11レース(前年は第10レース)となります。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●3歳馬アンジュデジュールがスパーキングレディーCで重賞初制覇

スパーキングレディーC(JpnⅢ、7月6日、川崎、1600万円)は、4番手を進んだ2番人気のアンジュデジュール(横山典弘騎手、牝3歳、父ディーブインパクト)が直線で内から2頭目を通して抜け出し、ララベル(大井)に1馬身半差を付けて快勝。タイニードンサーが3着、ホワイトフーガは単勝1.4倍の圧倒的支拂に応えることができず4着、3番人気のサクラフローラは11着に終わっています。

●優駿スプリントはバンドオンザラン【各地の主要3歳重賞】

優駿スプリント(6月27日、大井、1200万円)は、2番手から直線に入って間もなく先頭に立った8番人気のバンドオンザラン(牡、父スズカコーズウェイ)が、単勝1.3倍で圧倒的人気のサブジュニアを退け、北海道在籍時の栄冠賞、イノセントCに続く3度目の重賞勝ち。ウイナーC(6月25日、水沢、1400万円)は、出遅れて後方から追い上げた単勝1.9倍で1番人気のオールザベスト(牡、父スパイタウン)が直線半ばで抜け出し、金杯以来の重賞制覇を果たしています。

●タガノディグオらが出走、7月12日のジャパンダートダービー

ジャパンダートダービー(JpnⅠ、3歳、大井、2000万円)は、タガノディグオが中心、以下リゾネーター、サンライズノヴァ、ローズプリンスダム、サンライズソア、ノーブルサターン、ヒガシウィルウィン(船橋)までが争奪圏内と考えられ、他にJRAからはシングルコングが出走の予定です。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G1愛ダービー～オブライエン厩舎のカプリが制す

7月1日にアイルランドのカラ競馬場で行われたG1愛ダービー(芝1200m)は4番人気(単勝7倍)のカプリ(牡3歳、父ガリレオ)が道中2番手追走から直線に向いて先頭に立つと、G1英ダービー3着のクラックスマンの追い上げをクビ差退けて優勝しました。英ダービーの勝ち馬で1番人気に推されたウイングスオブイーグルスは2着馬から短アタマ差遅れた3着に終わり、レース翌日には左前肢の種子骨骨折が判明。そのまま現役を退くことになりました。勝ったカプリはこれで9戦4勝。昨年9月のG2ベレスフォードS(芝800m)で重賞初制覇を果たしましたが、その後は前走の英ダービー(6着)まで4連敗を喫していました。S.ヘファナン騎手はこのレース3勝目。A.オブライエン調教師は12勝目です。

●仏G1サンクルー大賞～良血ザラックが待望のG1初制覇

G1サンクルー大賞(芝2400m)が7月2日にフランスのサンクルー競馬場で行われ、C.スミヨン騎手を背に最後方で直線に向いたザラック(牡4歳、父ドバウイ、A.ドゥロワイエデュプレ厩舎)が大外から鮮やかに差し切って優勝。G1凱旋門賞を含む7戦無敗の名牝ザルカヴァを母に持つ良血馬が12戦目にして待望のG1初制覇を果たしました。